

1. 活動の概要

5月21日(水)、大田市立朝波小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに大田市教育委員会の方から、学校の周辺にあった横穴墓と出土品について話を聞きました。その後、学校の近くにある「西迫横穴」と「大西大師横穴墓群」を見学しました。横穴の迫力や雰囲気につくりしたり、感心したりしていました。

次に、県埋蔵文化財調査センターの職員から、古代の玉についての説明を受けました。古墳時代の後半から奈良時代に出雲で作った玉が全国の古墳に副葬されることや、玉の制作に使う砥石が外の地域から運ばれることなど、古代の交流の話を聞きました。次に、勾玉づくり体験を行いました。みんなやる気満々で、真四角な原石から始めたので削る部分が多かったり、思った形にならず悪戦苦闘している子もいましたが、最後には仕上げ磨きも行って全員が玉を作り上げました。暑いなかでの汗をかきながらの授業でしたが、全員笑顔で見学と体験を完遂しました。

2. 活動の様子



「小学校の近くで見つかった出土品です。」



「よし！横穴墓を探検してみよう！」



「岩に穴を掘ってお墓にしたのだよ。」「何個も横穴がほってある。」「町にこんな遺跡があったなんて知らなかった。」



「古墳時代に出雲は玉作の中心地でした。」



「がんばって玉をつくるぞ！」

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- ・よく知っている波根町にいっぱい古墳があつてびっくりしました。
- ・横穴の中は狭いと思ったけど予想より大きくてびっくりしました。
- ・近くに古墳(横穴墓)がたくさんあることがわかって良かったです。
- ・もっと他の古墳(横穴墓)に行ってみたい。
- ・まが玉作りは難しくてうまくできなかったけど楽しかったです。
- ・メノウや碧玉でまが玉をつくってみたいです。

2)担任の先生から…

- 資料が子どもにもわかりやすく良かったです。(実物もあつて良かった)
- 見学先での見るポイントが分かりやすく伝えられていました。
- まが玉のキットは集中力がつづくぴったりの教材でした。
- 資料はA4サイズでしたが、B5サイズだとノートにそのまま貼れたと思います。

3)埋文センターから

学校の周辺に多くの遺跡があることを知った児童のみなさんは驚きの声を上げていました。また遺跡の見学では感動することが多かったようで、他の遺跡も見たいという感想が多く寄せられました。

まが玉づくりでは、穴を開けただけの四角い石材を使用しての体験でしたが、児童の皆さんはコンクリートブロックだけを使ってがんばって自分だけのまが玉をつくりました。